

「イツヴェラヴァ老人ホーム機材整備計画」署名式



(右から) 丸橋総領事代理、
サントス会長、マツバラ市長



署名式に出席した団体関係者

2007年2月27日、当館において、当館とイツヴェラヴァ市のドミンゴス・リベイロ・ドス・サントス・ジュニア老人ホームとの間で、草の根・人間の安全保障無償資金協力に対する贈与契約署名式が行われ、丸橋次郎総領事代理、同団体のマウロ・セルジオ・フェッレイラ・ドス・サントス会長、マリオ・マツバラ・イツヴェラヴァ市長他関係者7名が出席した。

署名式において、丸橋総領事代理は、「過去5年間の努力により新施設を建設され、今回我が国が機材の整備費としての6.3万米ドルの資金協力を行い団体の活動に寄与できたことは大変嬉しく思う。国の援助としてささやかかもしれないが、日本国民からの援助であり、有効に利用されることを期待する。また、本協力を通じ、高齢者に快適な環境整備のため計画実施及び今後の団体の活動の発展を期待している」と挨拶しました。

サントス会長からは「恵まれない人々、特に高齢者に対して投資する人は少なく、この援助に対する感謝の言葉が見つからない。人間は独りでは無力であるがまとまれば強い。今回の援助は老人ホームに愛情、快適さ、安全性そして品格を贈ることになった」と謝意が表された。

また、マツバラ市長からも「42名の高齢者だけではなく、イツヴェラヴァ市民全体が裨益する日本政府の協力を受けたことは日系人としても大きな喜びである。この団体の活動がなければ、多くの高齢者が悩んでいたことであろう。日本の協力に心から感謝しつつ、イツヴェラヴァ市の次世代にも高齢者を尊敬してほしいと願っている」との挨拶がありました。





現施設の食堂

案件名： イツヴェラヴァ老人ホーム機材整備計画

被供与団体： ドミンゴス・リベイロ・ドス・サントス・ジュニア老人ホーム

プロジェクト実施地： サンパウロ州イツヴェラヴァ市

契約署名日： 2007年2月27日

供与限度額： 63,056 米ドル

案件概要： 同団体は 1964 年築の施設において 42 名の高齢者を介護しているが、手狭である上、老朽化した建物は安全面での問題が発生している。5 年がかりで寄付金を集め、新しい施設を建設したが、大型乾燥機、ベッド、食堂用家具、リハビリ用機材等が購入できないため、我が国の無償資金協力により新施設に備える家具や機材を購入するもの。

供与品目： リハビリ機材(エルゴメーター、上・下肢用ハバードタンク、バランスボール、赤外治療器等)、家具(ベッド、マットレス、戸棚、等)その他(冷蔵庫、ローラープレス機、30^{キロ}用乾燥機、ウォーターサーバー、等)



新施設